



太子寺



如来寺

高田 本山 だより

発行所
真宗高田派宗務院内
三重県津市一身田町2819
電話 059-232-4171
FAX 059-232-1414
HP www.senjuji.or.jp



発行部数 34,000部

真宗高田派本山
兼帯所如来寺・太子寺
鈴鹿市三日市

太子寺輪番 眞岡慶光

兼帯所という言葉は、本山直轄寺院という意味で、江戸時代によく使われました。ご法主が住職を「兼帯」する(かねる)ところから名付けられました。一般末寺とは寺格が違っており、ここ三日市の如来寺・太子寺は永正八年(一五一一)に焼失したので、第十一世応眞上人(一四九〇〜一五三二)は自らも金二千疋を下附されました。(永正十一年、一五一四)その時に兼帯所となりました。

鈴鹿市三日市は三重県の中央部北側に位置し、古来より東海道及び伊勢熊野街道等多くの街道が交差するところで、奈良・大阪・京都から東国に向かう重要な街道の分岐点でした。三日市という地名が示すように毎月三のつく日に市が開かれて、大勢の人でにぎわいました。そのため今から約千四百年前、聖徳太子は仏法弘通のため、如来寺と太子寺を創建



されました。そして如来寺に恵光坊(現良珠院)と浄林坊(現常超院)、太子寺には真蔵坊(現寿福院)と清泉坊(現撰取院)を、さらに現在廃寺になった二坊など合わせて六坊を置いて、両寺の護持にあたりました。その後天台宗三世慈覚大師円仁上人(七九四〜八六四)がこの地で教化されるなど、多くの聖僧が訪れています。

その如来寺・太子寺に、嘉禎元年(一二三五)の春、親鸞聖人が顕智上人、専信上人、善然上人を随従して立ち寄られ、他力念仏を説かれました。その後顕智上人と善然上人は、親鸞聖人のお仰せに従って、如来寺・太子寺を道場として、伊勢の各地を教化されました。人々はその高徳をしたい、群参し、門前市をなしたと伝えていきます。かくて三日市の如来寺・太子寺は伊勢地方における真宗発祥の地として、他力念仏の中心道場となりました。

顕智上人は後に下野国高田の専修寺第三世住持として活躍された方だけに、この地の教化は善然上人が中心になってされたようです。しかし顕智上人が京都へ向かわれる時は、時々この地に立ち寄り教化されました。

時に延慶三年(一一三一)旧七月四日いつものように如来寺・太子寺でお説教された顕智上人は日没の中、お姿が見えなくなり、村人達が探しましたが、ついに見つけることはできませんでした。このときの様子は今日まで「おんない(御身無)念仏会」として伝承され、県の無形文化財に指定されております。

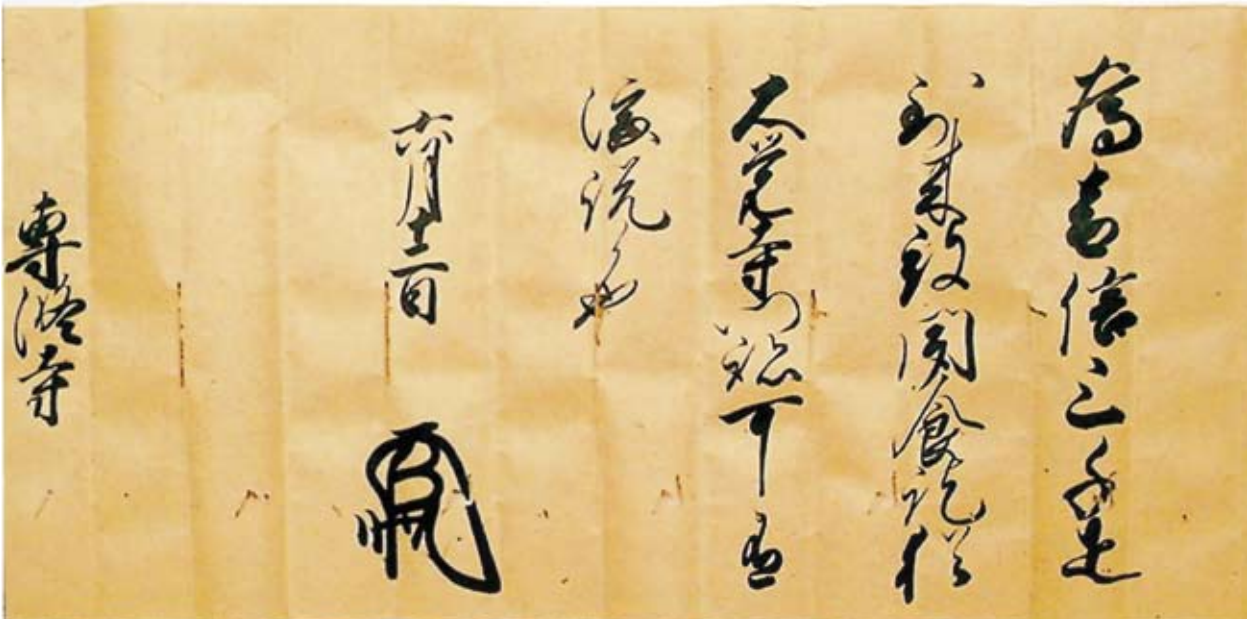
如来寺のご本尊は一光三尊仏で、その脇には顕智上人等身座像を安置しております。

太子寺は聖徳太子像(十六歳孝養太子像)で、前立像は本山の「もみ」の木で、「紅葉堂」と同木で刻まれています。善然上人像はかつて国宝に指定されていましたが、現在は国の重要文化財になっております。



顕智上人御廟

足利義輝御内書



為音信三千疋
到来 被聞食訖猶
大覚寺門跡可有
演説候也

六月十二日 (花押)

専修寺

《読み下し文》

音信として、三千疋
到来、聞こしめされ訖、
なお、大覚寺門跡、
演説有るべく候なり、

(永禄三年、一五六〇年)
六月十二日 (花押)

(室町幕府第十三代將軍 足利義輝)

専修寺

前回の『六条有房書状』では、院宣の入手には多額の礼金が必要であったことを紹介しましたが、その金額について記した文書はあまり多く伝えられていません。しかし、時代は下りますが、この永禄三年(一五六〇)の室町幕府第十三代將軍からの文書には、明確に「三千疋」と書かれています。この文書と同日付の文書に、下野国(現、栃木県芳賀郡二宮町)

高田専修寺の住持職と諸末寺の管領を克恵上人へ安堵する室町幕府の奉行人連署奉書が伝わっていますので、この三千疋という記述はその安堵状に対する専修寺側からの御礼金についての受取状と考えられています。言わば足利將軍の領取書とでもいうべきものです。一疋を錢百文として、十疋で一貫文(一貫文)。さらに四貫文を一両と考えると、三千疋は三百貫。おおよそ七十五両になります。これを現在の貨幣価値に直すことは難しいのですが、半端な金額ではなかったことが想像されます。ちなみに、この時の足利義輝は二十五歳で、室町幕府の歴代將軍の中でも武人として知られていますが、また、政略にたけた人物との評価もあります。二年前の永禄元年に京都に帰還したばかりで、母と正室は共に近衛家の出身であったため、公家社会とも深い関係を保っていました。特に、母の慶寿院は永禄八年五月に義輝が松永秀久に攻められて殺害された際、同時に自刃しています。この慶寿院から専修寺へ宛てた永禄四年の書状も、そのほか数点の書状とともに重要文化財に指定されています。

この後、専修寺はその住持職の継承権をめぐる、高田専修寺(克恵上人側)と越前専修寺(真

智上人側)とに分立し、その正統を長期にわたって争いますが、江戸時代の寛永十一年(一六三四)に至って漸く高田本山側の勝訴となつて決着したことはよく知られています。

(参照)「真宗資料集成第四巻」、昭和五十七年十一月刊
「二宮町史資料編」、平成十八年八月刊
新指定の重要文化財講座は、九月からは、毎月の第四木曜日の午後四時から五時まで、宗務院の二階にて開設しています。どなたでも自由にご参加下さい。

(宝物館主幹 新光晴)

御影堂落成慶讃大法会 平成22年5月13日(水)から17日(月)まで厳修

落慶大法会に向けて賑々しくお参りいただけますよう準備を進めています。期間中は、午前法要、午後法要を中心に法要の合間には著名人の講演、演奏等のイベントなどを計画しています。新しい御影堂において聞法の道場として老若男女の参詣をいただき、念仏高田再興の機縁として多くの方々から「お参りに来てよかったね。」と言う声が聞こえるような法会と致したく取り組んでいます。皆様のご参詣を心よりお待ちしております。

計画中の各種行事

- 庭儀式(稚児練り) 5月15日(土)、16日(日)
- 真宗各派御門主御参詣(御焼香)
- 布教伝道 布教大会、説教
- 各種大会 責任役員大会、青年会、婦人大会、坊守会
- 祝賀行事 前夜祭、祝賀会
- 展観 宝物館展示、
- その他 団体参拝・各種イベント



御質問に答えて

”聖人のみもとに帰ろう“

(開山聖人七百五十回遠忌 報恩大法会基本理念) について説明して下さい。

〈お答え〉

本山教学総務 藤山眞哉

「聖人のみもと」とは何でしょうか。

それは、御開山親鸞聖人のみ教えの原点ということであります。

では、聖人のみ教えの原点とは何でしょうか。

それは、聖人が九十年のご生涯において、身をもって獲得された真実を宗とする教え、すなわち「南無阿弥陀仏」であります。

それをより端的に表わされたのが、『教行証文類』の後序に語られている聖人の回心の告白、”雑行を棄てて、本願に帰す“ということばであります。聖人は二十年間の比叡

山での修行の結果、得られたものは、”煩惱具足の凡夫のわが身の発見“であり、凡夫が凡夫の身のままで救われるのは、”本願に帰す“ことしかないとお示しくくださったのです。

”本願に帰す“とは「本願に帰命する」ということで、阿弥陀仏がわれわれ一切衆生(煩惱具足の凡夫)を救わずにはおけないという願い(南無阿弥陀仏)に対して素直にうなづくということです。そこには、うなづけたよろこびが満ちあふれているのです。

私たちは、仏の願いの中に存在し、生きているということに目覚めていかねばなりません。

また、私たちは、僧俗一体となつて、「真宗高田派の指針」をよりどころとして、日々の生活を充実させていきたいものです。



常識？ 非常識？

十一月十一日、第二十八回坊守・婦人会合同研修会の小旅行で、宇治の平等院に行きました。境内で景色を見てみると、入口付近が急に賑やかになりました。目をやると、名物「宇治茶アイス」を食べている六十代くらいの女性三人連れを、係の方が止めて、話しかけています。「アイスを食べながらの入場はお断りします。食べ終わってから入して下さい。」

女性はかなり不満を言っていました。係の方が聞いてくれないので、入口の前でアイスを食べはじめました。しかし晩秋の夕方の肌寒さの中、すぐに食べ切るのをあきらめて、食べかけをゴミ箱にポイと捨てて入って行きました。

その話をしたら「どういうつもりでその人達はお寺に来るのかねえ」という声が小旅行の参加者からは多く聞かれました。

本山でも、境内で歩きタバコをしている人には、職員が注意を促しますが、注意されて逆に職員にくつてかかるともかなりいるそうです。

お寺や神社に入るといふことは特別なことで、歩きながら飲食や喫煙をしないことはもちろん、服装や言動まで気を使うものだと思う私達の常識は、世間の常識ではないのでしょうか。

(栗)

御本山御用達

鍵長法衣仏具店

京都市下京区油小路正面東入(中央局区内) 電話 (075)371-0854・8181~2番 FAX (075)344-2701番 振替口座・01070-3-972番 郵便番号600-8344

高田本山御用達

井筒法衣店

社長 幾田潤

京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前) (〒600-8503)

TELフリーダイヤル 0120-075-720 FAXフリーダイヤル 0120-075-490

三末照国著 教行信証講義 真仏土

真仏土文類を本文・延書・大意・語釈・現代語釈・師説にわけ講義 定価7350円税込

藤澤桂珠著

教行信証講讃

第五巻―信文類(末)―

信文類(末)の信念・釈論・真仏弟子・釈・弁機・彰法・釈義・料簡について 定価7350円税込

普賢晃壽著

阿弥陀仏の救い

―人生の帰趨― 私のお心にいたいた親鸞聖人のおみのにての思いと、法義を讃仰した文集 定価2100円税込

小林浄子著

あんたもわたしもみな兄弟

本願成就文・美しい姿・自殺はしないで・親と子の絆・お寺とは・心と体はひとつです 外 定価1700円税込

無名会同人編

仏と人 45

教団と寺と私と 足利孝之 / 仏法不思議ということ 源 義春 / 維新の真宗勤皇 僧 超然 / 南部松雄 / 時計の詩 森 正隆 / 正信偈のこころ(二) 梯 實圓 / 恩の世界 高田慈昭

定価410円税込

600 8342 京都市下京区花屋町西洞院西入 永田文昌堂 電話 07553371196 FAX 07553371196 015023051149063311

リレー法話

音曲(節)のついたお経：
声明
鷹阪龍哉

親鸞聖人は、九歳のとき粟田口の青蓮院で得度され、出家となつて比叡山に登られました。

聖人の、そこでの生活は、常行三昧堂の堂僧であつたといわれています。

常行三昧堂のご本尊は、おなじみの阿弥陀如来様ですが、このお堂は、私たち真宗の本堂と異なり、ただ本願のお力を信じて拜むだけではなく、自らの、行としての常行三昧を修する場所です。不断念仏といって、来る日も来る日も、念仏を唱える為のものです。

その、常行三昧とは、天台宗、つまり比叡山の行の、その中心をなす考え方の四種三昧と呼ばれるもののひとつで、常座三昧、とならんで、その代表的なものの一つです。

基本的には、どちらも、九十日間続けて行をする難行中の難行で、常座三昧は九十日座り続け、常行三昧は、九十日阿弥陀様の周りを歩き続けます。親鸞聖人は、この常行三昧を20余年にわたってお勤めされたのですが、その後、その自力の行に、また、比叡山での権力の争いに疑問をもって、比叡山をお降りになりました。法然上人のところへ御出でなつたのは皆さんもご存知の所です。

そもそも常行三昧は、天台宗の第三代の座主である慈覚大師円仁が、唐の五大山という念仏の聖地から持ち帰つたものです。

その入唐求法のなかで、慈覚大師円仁は、さまざまな知識や言語そして仏教の教えを身につけたのですが、その中の一つに、声明(お経に節を付けたもの)がありました。そして、親鸞聖人が、常行三昧堂での、行で、絶えず唱え続けておられたのが、その、常行三昧の、声明(天台声明)だったのでした。

想像するに、山を降りた親鸞聖人は、その常行三昧を日常の誦経として使っておられたのだと思います。その証拠に現在私たちの高田派でも、阿弥陀経を中心とする勤行は、常行三昧を基として勤めています。

もちろん、七百年以上の月日と、教法に応じた変化は多くありますが、天台声明を使う勤行の骨格は、同じものであるのは間違いない事実です。

そして、今、私たちが、親鸞聖人の遺徳をしのびお勤めする、報恩講。これもまた、高田独自の声明と共に、その天台声明を使っているのです。

来年は、四月二日に 東京の国立劇場で、声明公演「親鸞聖人讃歎の集い」として、報恩講のご法主による式文通読が勤められます。またとない、この機会に、式文や声明を通して、親鸞聖人の山での思いに触れてみては如何でしょうか。

(京都市 龍源寺)

東京国立劇場に特別声明公演を鑑賞

平成21年4月2日(木)~4月3日(金)
4月2日

6:30 津=湾岸長島=浜名湖 SA=富士川 SA=海老名 SA=東京国立劇場 (声明公演鑑賞)
Aコース ホテルモンテ横浜 (中華街にて夕食)
Bコース 熱海温泉 (熱海金城館)

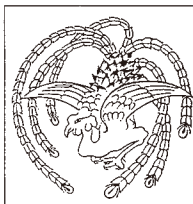
4月3日

Aコース 8:30 ホテル出発=横浜市内めぐり=富士川 SA=浜名湖 SA 湾岸長島= 津
Bコース 8:30 ホテル出発=箱根めぐり=沼津=焼津おさかなセンター 17:20 18:30

旅行代金 29,800 円 《申込金》 10,000 円 (旅行代金に充当します)

募集人員 400 人 募集締切 平成21年2月20日 (満員になり次第締め切らせていただきます)

本山宗務院に申込用紙がございます。 TEL059-232-4171



仏壇・仏具

ぬし与

ホーオーが目印!

六代目 (株)ぬし与仏壇店

桑名本店・四日市店・鈴鹿店・蟹江店・大安店・阿下喜店

緑と共に75年

三重県知事免許認可
(一級造園技能士)造園・庭園管理

山本造園

代表 山本 進一郎

津市栗真小川町 869-77

TEL 232-7453

FAX 232-7453

報恩講行事

一月九日(金)

十二時三十分

建夜勤行 説教 隆 妙艶師

十六時三十分

初夜勤行 説教 田中明誠師

一月十日(土)

七時

晨朝勤行 説教 鷺山了悟師

十時三十分

日中勤行 説教 堤 妙縫師

十二時

お七夜坊守会

十二時三十分

大講堂説教 真置美徳師

お七夜青年大会

十四時 里榮秀教師

十六時三十分

初夜勤行 説教 松山智道師

一月十一日(日)

七時

晨朝勤行 説教 藤井徳雄師

十時三十分

日中勤行 説教 高林亮英師

十三時 お七夜子ども大会

十二時三十分

大講堂説教 真昌智海師

十四時 速夜勤行 説教 金森顕宏師

十六時三十分

初夜勤行 説教 田上洋心師

一月十二日(月・祝)

七時

晨朝勤行 説教 大河戸悟道師

十時三十分

日中勤行 説教 織田信海師

十二時

お七夜婦人連合会

十二時三十分

大講堂説教 井東信道師

十三時三十分

新成人の集い

十四時

速夜勤行 説教 伊藤泰臣師

十六時三十分

初夜勤行 説教 都築堯寛師

一月十三日(火)

七時

晨朝勤行 説教 長谷部行雄師

九時

如来堂特別講演 梅林久高師

十時三十分

日中勤行 説教 花山光瑞師

十二時三十分

責任役員会

十四時 大講堂説教 藤澤真純師

十六時三十分

速夜勤行 説教 中村宜興師

初夜勤行 説教 千草篤昭師

一月十四日(水)

七時

晨朝勤行 説教 清水谷正尊師

九時

如来堂特別講演 栗原廣海師

高田学苑報恩講参拝

他山御代香

高田保育園報恩講参拝

日中勤行 説教 谷口光進師

十二時三十分

大講堂説教 林 浄光師

十四時

速夜勤行 説教 廣田隆字師

十六時三十分

初夜勤行 説教 三栗家篤証師

一月十五日(木)

七時

晨朝勤行 説教 安藤章仁師

十時

高田短期大学報恩講参拝

十時三十分

日中勤行

御親教 法主殿 復演 稲垣舜岳師

十一時三十分

法主褒賞式

十二時三十分

大講堂説教 戸田信行師

十四時

速夜勤行 説教 松山智光師

十六時

お七夜婦人連合会初夜参詣

十六時三十分

初夜勤行 説教 齋藤正澄師

十九時頃

白塚ししこ念仏

二十時頃

護持会通夜念仏

二十三時

後夜

一月十六日(金)

七時

晨朝勤行 説教 戸田恵信師

十時三十分

日中勤行 説教 三山信恵師

十二時三十分 大講堂説教 安田真源師

その他

一月九日～十六日

お七夜献書展 廊下

一月九日～十五日

宗丹古流早茶 有慶堂

九日 十三時～十五時

十日～十五日 十時～十五時

一月十日～十五日

お七夜生花展

一月九日～十六日

真宗高田派専修寺絵所

『御絵伝の世界』

一月九日～十六日

宝物館特別拝観

一月十日～十五日 十時～十五時

一月十六日 十時～十三時

宝物館説明

一月十日～十五日 午後一時

一月九日～十六日

案楽庵見学

一月九日 十四時

一月十日～十五日 十一時～十四時

一月十六日 十時

(天候等により中止の場合あり)

一月十日～十五日 十時～十五時

お尋ねコーナー

ご法事のご会食 ご予約承り中

～少人数から団体のお客様まで是非ご利用ください～



お薦め商品(精進+和食ミックス) 本山会席



人気商品 高田本山流 精進料理

各種献立よりお選びいただけます。 〇精進料理 1人前 4,000円(税別) 〇本山会席 1人前 3,500円(税別)

お問い合わせ・ご注文は 〇高田青少年会館 TEL.059-232-6079



高田本山御用達 三重県仏教会御推薦

石碑 記念 燈籠



高級御影石専門店

御影石材(株)

(石に御用の方は) 〇120-142540

本店 津市広明町(影見寺門前) 〇059-224-1700(代)

親鸞聖人のご生涯 シリーズ⑧

信心一異

これは親鸞聖人が吉水時代、善信と名のられていた時のことです。聖人三十四歳、法然上人七十四歳でありました。

善信が居並ぶ法然門下の前で「法然上人の信心も、善信の信心も、少しのちがひもありません。ひとつです」という意味の発言をなされました。これに対し、正信坊、勢観坊、念仏坊を

始めご門弟の人々が「どうして一つであろうか。七十四歳で学識、経験豊かな、しかも日々数万遍もお念仏申しておられるお師匠様の信心と、まだ若輩者の信心と一つであるとは思いますが、もはなほだしい」と非難されました。しかし善信は「いや同じです。学識や経験等で比べるのならお師匠様には遠く及ばぬものですが、往生の信心は一つです」と引き下がりません。それでご門弟の人々はこのことを法然上人に言上なされました。

法然上人はご門弟の前にお出ましになられ言明なされました。「善信の信心も如来様から賜った信心、この法然の信心も如来様から賜った信心、だから少しもちがひがあるはずがありません。信心が違うということは、自力の信について言うことです。他力の信心はみな一つです。若し経験とか学識、才覚によって信心が異なるのなら、私が参らんとするお浄土へ、皆も一所に行けません。よくよく心得ておきなさい」と言われて一同驚嘆されたと言ひ伝えられています。勢観坊も念仏坊も後に一宗を開く程のお方でありましたが、なかなか自力のはからいを捨てることは難しく、他力の念仏、如来様から賜りたる信心の会得はかありませんでした。

他力念仏の信心を正しくいただくことは大変難しいことです。親鸞聖人は法然上人が広めて下さったお念仏のみ教えを、いかに正しくいただくかということに、生涯をかけてご苦労してくださいましたのであります。

(教学院第三部会)



お七夜「お尋ねコーナー」開設について

ご好評をいただいております、みだしの「お尋ねコーナー」を平成21年も開催致します。仏事に関する疑問や尋ねたいことなど、次の要領にて実施いたします。お気軽にお立ち寄り下さい。相談は無料で秘密は固くお守りいたします。

記

- 期間 平成21年1月10日(土)～15日(木)
- 時間 午前10時より午後3時まで
- 会場 宗務院1階ロビーに特設します。
- 担当 本山教学院研究員がご相談に応じます。

世の中安穏なれ 仏法ひろまれ

普段見ることのできない職人絵師の世界をご紹介します。



御本山絵所展

『御絵伝の世界』

2009年 1月9日～16日

開山聖人のご正忌報恩講大法会(お七夜)

場所:本山宗務院2階 第3会議室

京仏壇京仏具・ご本堂内装 お仏具ご修復・お納骨壇



高田本山御用達

京仏具

小堀

本店/京都市下京区烏丸通正面上る ☎(075)341-4121(代)
東京店・練馬店・福岡店・札幌店・小堀京仏具工房

無料進呈! お役に立てて下さい

◆成功談と失敗談に学ぶ 新築・改築のノウハウ「100のヒント」
お申し込みはこちらから フリーダイヤル(本店) 0120-27-9595

お墓

寺標

墓地移転

霊園開発造成

高田本山御用達
石匠位認定店
全国優良石材店、認定店

創業100余年

株式会社

SIONES 石仙

(旧(有)山本石材店)

四日市市近鉄阿倉川駅前

☎0593-31-4114

ダイヤルコール

ご和讃のお話

久世 宜範

釈迦は要門ひらきつつ

定散諸機をあわれみて

正雑二行方便し

ひとえに専修をすすめしむ

(善導大師 第四首)

意訳

釈尊は観経の中で、定善散善の要門をくり返し説き開き、定善や散善の人々を哀れまれて、正行と雑行の二つの行を、便宜的な救いの方法として説かれ、その真意には、ひとえに他力の専修念仏をおすすめになる。

善導大師は、中国の僧で、隋の大業九年（六一三）にお生まれになり、唐の永隆二年（六八一）六十九歳で往生されたと伝えられています。

この時代は中国各地で、善導大師がお生まれになる前から『仏説観無量寿経』が盛んに講義されてきました。そのような時代にお生まれになった善導大師は、聖道門（この世で自己の修行の力量で、聖者の位に入り、さとりを得ようとする道、またはその教えのこと）の人々の『仏説観無量寿経』の研究と実践の道場と成っている悟真寺で、何年か研究と厳しい修行をされました。しかし、善導大師は聖道門の立場からの『仏

説観無量寿経』の見方に満足されませんでした。そして、親鸞聖人は、善導大師四首目に善導大師が明らかにされたことをこのように書かれたこの和讃は、釈尊の自力の行に哀れまれ、他力の行をお勧めになつていくのです。

要門とは聖道自力の人々が、浄土に帰入（生まれる）するための最も必要な門の意味で、定善散善を指します。そして、定善とは雑念を除いて心をこらす行で、散善は悪を廢して善に励む行のことで、共に自力の行のことで。次に、和讃に書かれている、正雑二行とは、正行と雑行のことで、正行とは、佛の教えに基づく正しい行の意味で、浄土教では弥陀の浄土へ生まれるための正当な行のことで。『正雑二行方便し』には左註があり、「五種の正行、五種の雑行なり。五の正行といふは、礼拝・誦誦・觀察・称名・讚嘆供養六種といふ時は讚嘆と供養を二つにするなり。」と書かれています。この五つの正行以外の行を雑行とします。

五つの正行とは、浄土の経を誦誦し、阿弥陀仏とその浄土を思い觀察し、阿弥陀仏を礼拝し、弥陀の名号を称え（称名）、ほめ讃えつつしみうやまうことです。

その中でも、弥陀の名号を称える他力の専修念仏をおすすめになられています。

津市白山町 寶田寺衆徒



蓮募集のお知らせ

来年（平成21年）の3月頃に蓮の根分けをします。蓮の管理費の一部にする為に、ご希望の方にお分けしたいと思います。数量に限りがありますので先着順でお願いいたします。

期間 2月28日まで

金額 1万円（Φ50×h40瓶付）

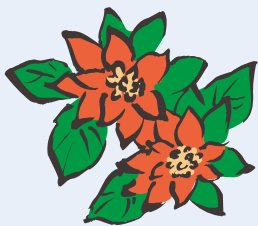
連絡先 本山宗務院藤原まで

TEL 059-232-4171

- 明光蓮 3鉢 大型 ピンク
- 美中紅蓮 3鉢 茶碗蓮 爪紅
- 紅舞妃蓮 3鉢 中型 ピンク
- 輪玉蓮 3鉢 中型 白
- 醉姫蓮 15鉢 大型 爪紅

清掃奉仕ありがとうございました
平成二十年

- 九月 西向寺 願行寺 第一一寿会
- 十月 光明寺 正蓮寺 妙華寺
- 光泉寺 栄松寺 本念寺
- 浄徳寺 満誓寺 タバコ組合
- 十一月 三重長寿社会大学北勢支部
- 龍泉寺 蓮光寺



本山諸法会

◆修正会

一月一日～三日
阿弥陀如来とともに新年を迎えられたことを喜ぶとともに、如来の恩徳を謝し如来の本願を届けて下さった祖師の方々を讃仰する年の初めの法会です。

一月一日の晨朝は、法主殿が自ら御仏飯を上げられる「御親給」が行われ、ご廟でのお勤めもあります。

◆御正忌報恩講

一月九日～十六日

お念仏の御教えをお勧めくださった宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲び、ご恩を喜び、報謝させて頂く法会です。

本山では御開山聖人のご遷化の日である一月十六日(旧曆十一月二十八日)の御正忌をご縁として勤められます。年間の諸法会の中でも最も大切な法会で、一日四座(連夜・初夜・晨朝・日中)、七昼夜行われることから「お七夜さん」と呼ばれています。

◆第十二世堯慧上人四百年忌法会

二月二十三日～二十五日

第十二世堯慧上人(一五二七～一六〇九)は飛鳥井雅綱の第三子で、一五三七年に専修寺第十二世のご法主となりました。

時代はまさに戦国時代から安土桃山時代、江戸時代と移っていく頃であり、足利将軍や織田信長、豊臣秀吉、徳川家康など、誰もが知っている歴史上の人物から堯慧上人に宛てた書状も、多く残っています。激動の時代に高田派を守られた、ご法主といえるでしょう。



消防訓練

一月二十六日午後二時

昭和二十四年一月二十六日に法隆寺の金堂が炎上して、壁画が焼損したことを契機に、昭和三十年よりこの日を文化財防火デーとされました。国宝や重要文化財が多数ある高田本山でも、この日には消防署、津市消防団北部方面隊、一身田地区自主防災組織、一身田地区住民に本山職員も参加して防災訓練が行われます。今回は八年ぶりに、両御堂を使って大規模に行なわれます。



寺院名

編集後記

十月十八日に、知り合いが結婚しました。その日は仏滅に当たっていましたが、新郎新婦ともに高田派寺院で育ち、僧籍も持っているのので、全く気にする様子もありません。

式間近のある日、招待者の一人が、「なにも、仏滅の日に結婚しなくてもいいのになあ。」

「お坊さんには、そんなこと(仏滅など)は関係ないんですよ」と説明しましたが、彼はどうも納得していない様子です。

そこで私は、なんとか納得してもらおうと一生懸命説明するのですが、どれだけ説明しても、やっぱり仏滅に結婚式をあげることは納得いかないうです。

「良時吉日」というものが、いかに人々の心の中に深く根付いているかということ、僧侶である私たちが、いかに世間の迷信にうとい?かということを実感しました。

(栗)